



平成31（令和元）年度「特色ある学校づくり対策事業」

佐世保市立早岐小学校

創立 明治7年（145年目）

所在地 佐世保市早岐2丁目32番12号

校長 井上 道哉

児童数 671名 学級数 23学級

（R1年 5.1現在）

つながる心をもち夢に向かってがんばる子どもの育成

目 的

- （1）「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう姿勢」を意識した教育課程を編成し、子どもたちの学力向上を目指す。
- （2）地域とともに歩む学校づくりに沿った教育課程を実施し、子どもたちに地域を知り、地域の教育力を活用した学習に取り組みさせる。
- （3）国語科の学習を基盤とした主題研究の充実を図り、学力向上を図る。
- （4）主題研究以外の指導力向上研修の 実施し、学力の向上を図る。
- （5）各学級の実態が生かされた学年の 統一性のある学年・学級経営を行い支持的風土のある雰囲気醸成させていく。
- （6）潤いのある教育環境と温かい人間関係の醸成に取り組み、心豊かな子どもの育成を図る。

運 営

本年度の早岐小学校教育目標である『つながる心をもち夢に向かってがんばる子どもの育成』を受け、特色ある学校づくりのテーマを『自ら学び、学びを試し生かす児童の育成』とした。

本校の特色は、長い歴史に育まれた地域性や、豊かな自然である。これらを生かすため、児童の発達段階や興味・関心に基づいて、右の図のような様々な取組を行う。そうすることによって、児童は自らを学び、自らを試し、生かす豊かな体験や人や自然とのつながりを学ぶことができる。



活動の実際



道具づくりと遊び体験

シャボン玉遊びの道具づくり及び遊び体験をとおして、そのおもしろさに気づき、その活動を通して友達と仲良くできた。

教材開発

定期的に「校内漢字検定」を行う日を設定して、実施し

た。ブロックごとに結果を公表し、児童の意欲を高めた。また、年間3回、日本漢字能力検定協会主催の「漢字検定」を本校でも実施し、のべ157名の児童が受験をした。



ふるさと学習

3年生が郷土芸能（上原浮立）について、体験や見学やインタビューをとおして学習した。地域の方々から浮立について教えていただき、体験学習を行った。校区内の史跡を巡ったりすることを中心にして郷土への関心を高めた。また、古くから伝わる「早岐茶市」開催期間中には、早岐茶市について調べ、実際の見学をとおして学習したことを

まとめる学習を行った。



栽培活動



季節の花や野菜を育て、毎日の水やりや成長記録を行った。立派な野菜が収穫できた時には、子ども達は生命のすばらしさを感じることができた。栽培活動によって、年間を通して植物にふれあう時間が増え、情操を豊かにできた。積極的に植物や小動物に係わろうとする子

が増えたことが目に見えていた。

福祉社教育

福祉にかかわるG Tを招き、話をきいたり、車いす体験をしたりすることを通して自分たちができることを考え、実行した。

また、地域のお年寄りの方にインタビューをしたり、一緒に旧祝を食べたりして地域に暮らしている、多くの方々との良い交流の機会となった。



キャリア教育

浴衣の着付けの講師を招き、着物の良さについて話を聞いたり、実際に一人一人浴衣の着付けの仕方を学んだ。浴衣を切り経験も年々少なくなってきた。浴衣を切り経験も年々少なくなってきた。浴衣を切り経験も年々少なくなってきた。浴衣を切り経験も年々少なくなってきた。



環境教育

環境にかかわるG Tを招き、話を聞いたり、地区にある事業所へ行き、環境についてのインタビューを行うことにより、環境のために自分たちができることを考え、実行した。また、学校版環境ISOを取得し、環境委員会を中心に節水や節電に取り組んだ。



平和学習

4年生の児童が、長崎原爆を中心に「平和」について学習した。実際に原爆資料館や平和公園を訪れ、全校児童の願いがこもった千羽鶴を奉納した。8月の登校日には、学習して分かったことをまとめて、学級で発表を行った。この学習を通して平和な世界を願う気持ちや態度を育成した。



二分の一成人式

4年生の児童が二分の一成人式を行うことにより、夢について考えさせ、高学年としての自覚を高めた。

学力向上



1年～3年生において学力調査を行い、指導の成果を検証することで、市、県、国が実施する学力調査と連携し、全校児童一人一人の実態に応じた指導が図られるようになり、学力の向上につながった。また、本年度は、職員研修を充実させることによって、教員の資質向上に成果があった。